

NotifySync for BlackBerry

クイックスタートガイド

NotifySync for BlackBerry バージョン 4.10.x 向け



要件

サービス要件

お使いのデバイスには、次のどれかが必要です。

- データ送信をサポートする携帯電話接続。
- インターネットにアクセスされた WiFi 接続。

サービスの設定する手順については、デバイスのユーザーガイドを参照されるか、携帯電話のサービスプロバイダにお問い合わせください。

メモリ要件

- **NotifySync** アプリケーションをインストールするには、**1.8 MB** の空き容量が必要です。
- 電子メール、カレンダーのイベント、連絡先、タスクをダウンロードして保管するには追加メモリが必要です。

BlackBerryオペレーティングシステム(OS)要件

- BlackBerry® OSバージョン4.5 – 7.0

更新

NotifySync の更新。 24 時間に 1 度 **NotifySync** ソフトウェア更新をチェックし、更新が使用できるとき、受診トレイに通知を送信するようにデバイスを設定できます。

- **NotifySync** を開き、メニューから **初期設定** > **一般設定** の順に選択します。
- **更新の自動チェック** オプションと **通知の更新** オプションを有効にします。
- **初期設定** > **更新のチェック** を選択して更新を実行します。

OS の更新。 **NotifySync** を更新するときは、OS の更新により、新しい OS バージョンと互換性のある **NotifySync** 機能がロック解除される場合があるため、常にデバイスで使用可能な最新のオペレーティングシステムソフトウェアをインストールしていることを確認してください。[知識ベース項目](#) も参照してください。

NotifySync のインストール

無線(OTA)のインストール

デバイスに **NotifySync** アプリケーションをダウンロードしてインストールするには、以下の指示に従ってください。

インストールチェックリスト

- 始める前に、バッテリーを完全に充電してください。
- デバイスのバックアップを完全に実行してください。
- アプリケーションをダウンロードしている間は、データをよく受信できる場所から離れないでください。
- **BlackBerry** で暗号化(≥OS v5.0)またはコンテンツ保護(<OS v5.0)オプションを無効にすると、**NotifySync** がデバイスに保存された連絡先、カレンダー、およびタスク情報にアクセスできないようになります。**BlackBerry** のホーム画面からこれらの設定にアクセスします。
 - **OS versions ≥5.0** の場合、オプション>セキュリティ>暗号化を選択しデバイスメモリ用の暗号化オプションを無効にします。
 - **OSバージョン <5.0** の場合、オプション>セキュリティオプション>一般設定の順に選択し、コンテンツ保護を無効にします。
- デバイスで **NotifySync** アカウントと共に **5.0** 以前の古い **OS** バージョンを使用し、**BIS** 電子メールアカウントを使用する予定がある場合 (*gmail, aol, yahoo* など)、まず **BIS** 電子メールアカウントをセットアップします。サービスブックがデバイスに送信されるのを待ち、デバイスから **CICAL** サービスブックを削除した後に、**NotifySync** をインストールします。詳細については、[知識ベース項目](#)を参照してください。
- **NotifySync** (オプション>言語)をインストールする前に、選択する言語にデバイスを設定してください。**NotifySync** アプリケーションの言語の変換がより完全なものになります。

NotifySync アプリケーションのダウンロードとインストール

1. デバイスのブラウザを開いて、ウェブアドレス <http://m.notifysync.com> を入力します
2. エンドユーザーライセンス契約書を承諾します。
3. **ダウンロード** ボタンを選択してアプリケーションをダウンロードします。
4. アプリケーションが正常にインストールされ、**NotifySync** が開いて登録画面が出ると、ダイアログが表示されます。

これで、いつでもデバイスを登録することができます。 [デバイスの登録](#) を参照してください。

デバイスの登録

NotifySync アプリケーションがインストールされたら、デバイスを登録する必要があります。

登録が完了するまで、電子メールと PIM 同期は開始されません。

登録方法

1. 登録画面がまだ表示されていなければ、**BlackBerry** デスクトップから **NotifySync アイコン** を選択します。アイコンはホーム画面、アプリケーションまたはダウンロードフォルダにあります。
2. ActiveSync サーバーアカウントに関連する **電子メールアドレスとパスワード** を入力します。
3. ネットワーク設定フィールドにより、ネットワーク接続を開くとき、ネットワーク **NotifySync** が使用するタイプを選択できます。デフォルトは **自動検出** で、使用可能なサービスに基づいて適切なネットワーク設定を自動的に選択します。**自動検出** を受け入れ、**詳細設定...** 画面から接続タイプの優先順位を付けるか、特定の **優先ネットワークタイプ** を選択します。

注: 「ダイレクトプッシュ」同期化を使用する予定の場合、優先するネットワーク設定として TCP を選択する必要があります。

4. **次へ** を選択して続行します。

注: **手動セットアップ** を選択すると、ユーザー名、ドメイン、およびサーバーアドレスを入力し、HTTPS 接続を使用するかどうかを選択するように求められます。

次へ を選択すると、登録プロセスでこの情報を「自動検出」することができます。

以下の **手動セットアップ** を参照してください。

5. **ライセンスキーのプロンプト** がポップアップ表示されたら、**管理者から提供されたキー** を入力します。
6. 設定を確認します。
 - 必要な変更を行うために、**編集オプション** を使用することができます。
 - サーバー設定が複数ある場合、管理者が指定した設定を **1つ** 選択する必要があります。
 - **次へ** を選択して続行します。
7. デバイスに同期化させたい情報のタイプを選択します。

電子メールボックスにチェックを入れ、メールを同期化します。

カレンダー、連絡先、タスク、メモの場合、以下のいずれかを選択します。

- **デバイスアイテムの交換** - デバイスに現在あるアイテムを削除し、サーバーから同期化させたアイテムと交換します。
- **アイテムの結合** - デバイスとサーバーの両方の場所に現在の状態で存在するアイテムを結合します。
- **同期化なし** - このアイテムタイプが同期化されないようにします。

8. 終了を選択して登録を完了します。

手動セットアップ

ライセンスキーを入力します。

ユーザー名フィールドに **ActiveSync** サーバーアカウント(通常は@の前にくるすべての文字)に関連するユーザー名を入力します。

または、**ActiveSync** サーバーでの認証用のユーザー名として電子メールアドレスを使用するように要求された場合、**ユーザー名として電子メールを使用する**にチェックを入れます。そして、サーバーアドレスフィールドにスキップします。

ActiveSync サーバーアカウントに関連するドメイン名を入力します。

ドメインは次のいずれかです。

- **Web** メールにアクセスするために使用するログインには、ドメインが含まれます。ログインはしばしば ドメイン/ユーザー名の形式を取ります。ドメインとして、/ の前にテキストを使用するように試みてください。
- 電子メールアドレスの@記号の後にくるテキストは、ときどきドメインと見なされます。例: 電子メールアドレスが *name@company.com* の場合、ドメインは *company.com* です。
- ドメインは電子メールアドレスの@記号の後にくるテキストの一部を使用することが、ときどきあります。この場合、「.com」の代わりに「.local」が表示されます。例: 電子メールアドレスが *name@company.com* の場合、ドメインは *company.local* です。
- ドメインフィールドを空白にしておくことで、**NotifySync** 登録が完了することがあります。

サーバーアドレスを入力します。これは、**ActiveSync** サーバーの外部アドレスまたはドメイン名です。通常 **Web** メールへのログインに使用するのと同じアドレスです。

HTTPS 使用ボックスにチェックを入れると、サーバーとデバイスの間での安全なデータ転送用の **SSL** 暗号化が有効になります。**SSL が ActiveSync サーバーで使用されているかどうかは、IT 管理者にお問い合わせください。**

次へを選択して続行します。

NotifySync 初期設定の設定

NotifySync 初期設定により、デバイスで NotifySync 設定をカスタマイズできます。本ガイドでは**プッシュ設定**、**電子メール設定**および**同期設定**の設定に関する指示を提供します。

初期設定の設定方法の詳細については、全体が分かる [NotifySync ユーザーガイド](#)を参照してください。

NotifySync を開き、メニューボタンを押し**初期設定**を選択します。

プッシュ設定

プッシュ設定を使用して、デバイスが使用する同期化のモード(**定期的なプッシュ**または**ダイレクトプッシュ**)およびサーバーへの接続を行う間隔を定義します。

平日と週末に対して異なる設定を定義し、その日の定義された期間に対して、終日操作したりまたは完全にオフにするための同期化を設定します。

プッシュタイプのネットワーク要件

- **ダイレクトプッシュ**は、キャリアネットワークにより **TCP** 向けにセットアップされたデバイスでサポートされます。
- **定期的なプッシュ**は、**BIS** または **TCP** 向けにセットアップされたデバイスでサポートされます
- **WiFi** 接続には、**BIS** または **TCP WiFi** を使用する必要があります。

メニューボタンを押し、また **NotifySync を無効にする**を選択することで、**プッシュ設定**を使用してすべての同期化を一時的に無効にすることもできます。同期化を再び有効にするには、**NotifySync を有効にする**を選択します。

1. **NotifySync** を開き、メニューボタンを押しします。
2. **初期設定 > プッシュ設定**の順に選択します。
3. **プッシュタイプ**を選択します。**定期的プッシュ**または**ダイレクトプッシュ**を選択します。
 - a. **定期的プッシュ**の場合、次を定義します。

平日設定	オフ 、 間隔 、または 終日 に設定して、デバイスが月曜日から金曜日まで同期化されるべきを判断します。デフォルトは 間隔 です。
週末設定	オフ 、 間隔 、または 終日 に設定して、デバイスが土曜日と日曜日に同期化されるべきを判断します。デフォルトは 間隔 です。
プッシュ頻度	終日 または 間隔 に対して平日/週末を設定した場合、同期化から同期化までの時間 (分) (1~90)を入力します。デフォルト設定は5で、5分ごとにデバイスが同期化する結果となります。

範囲	間隔に対して平日/週末を設定した場合、時間同期化が開始し終了するときを選択します。時間は 24 時間内の 1 つにする必要があります。デフォルト設定は 7:00 AM~7:00 PM です。
b. ダイレクトプッシュ の場合、次を定義します。	
ダイレクトプッシュタイムアウト	ダイレクトプッシュセッションの間隔を設定します（サーバーへのデバイス接続が同期化のために開いている時間の長さ）。デフォルト設定は 15 分です。 ダイナミック間隔 ボックスにチェックを入れると、ダイレクトプッシュセッションのパフォーマンスをモニタし、最適値に持続期間を調整することができます。
平日設定	オフ 、 間隔 、または 終日 に設定して、デバイスが月曜日から金曜日まで同期化されるときを判断します。デフォルトは 間隔 です。
週末設定	オフ 、 間隔 、または 終日 に設定して、デバイスが土曜日と日曜日に同期化されるときを判断します。デフォルトは 間隔 です。
範囲	間隔に対して平日/週末を設定した場合、時間同期化が開始し終了するときを選択します。時間は 24 時間内の 1 つにする必要があります。デフォルト設定は 7:00 AM~7:00 PM です。

4. メニューから**保存**を選択します。

電子メール設定

電子メール設定では、電子メールの送受信のオプションを選択することができます。設定は、同期化に対してタグ付けされたデバイスの受診トレイとカスタムメールフォルダの電子メールに影響を与えます。

1. **NotifySync**を開き、メニューボタンを押します。
2. **初期設定 > 電子メール設定**の順に選択します。
3. 電子メール設定の初期設定を選択します。

全員に返信へ自分を含める	このオプションを有効にすると、[全員に返信]を送信しているとき、受信者リストに自分自身が含まれます。デフォルト設定: 有効
返信または転送でオリジナルのメッセージを閉じる	このオプションを有効にすると、オリジナルのメッセージに返信または返信した後、そのメッセージを自動的に閉じて、メッセージリストに戻ります。デフォルト設定: 無効
メッセージを送信しているときスペルチェックを有効にする	このオプションを有効にすると、 NotifySync から送信されたすべてのメッセージのスペルを自動的にチェックします。デフォルト設定: 無効 注: スペルチェックは、BlackBerry OS 4.5 以降を実行するデバイスでのみ使用できます。

コピー・アンド・ペーストを許可しない	このオプションを有効にすると、テキストと電子メールメッセージの間で、 NotifySync フォルダにコピー・アンド・ペーストされないようにすることができます。デフォルト設定: 無効
送信者/受信者の表示	デバイスで受信するメッセージを表示するとき、送信者と受信者情報を表示する方法を選択します。 名前と電子メールアドレス、名前、または電子メールアドレスを選択します
電子メール本文の種類	<p>NotifySync がサーバーから取り出したメッセージを表示する形式を決定します。デフォルト設定: HTML</p> <p>プレーンテキスト - プレーンテキスト(何の書式設定も含まない)ですべての電子メールを表示し、HTML 電子メールをプレーンテキストにも変換します。</p> <p>HTML - 可能なときは常に、HTML (Web 用に書式設定されたテキスト)で電子メールを表示します。HTML 電子メールには、いくつかのオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルトのフォントサイズ: 1~16 ポイントから選択します。デフォルトは 8 です。 • ズームレベル: 50、100、150、200 パーセントを選択します。デフォルトは 100 パーセントです。 • 自動的に画像をダウンロード: 有効になっている場合、HTML 本文に埋め込まれた画像が自動的にダウンロードされます。デフォルト設定: 有効 • 画像のキャッシュ格納: 有効になっている場合、ダウンロードされた HTML 画像はキャッシュに格納されます。画像がキャッシュされる場所を デバイスとメディアカードから選択します。キャッシュに置かれた画像は、これに関連づけられた電子メールが削除されるとデバイスから削除されます。デフォルト設定: 無効。
自動完了	<p>有効になっている場合、受信者フィールドに入力すると、デバイスに現在格納されている電子メールアドレスが自動的に最後まで入力されます。デフォルト設定: 頻度とアドレス帳で有効にされます</p> <p>頻繁な電子メール - チェックが入っている場合、頻繁な連絡先リストから完了したアドレスを削除します(最近電子メールを送信したアドレス)。</p> <p>アドレス帳電子メール - チェックが入っている場合、デバイスのアドレス帳から完成したアドレスを削除します。</p>
送信メッセージに署名を追加	このオプションを有効にすると、 NotifySync から送信されたすべての送信メッセージに署名が追加されます。ここで署名を作成することもできます。デフォルト設定: 有効、一般署名

4. メニューから**保存**を選択します。

同期設定

同期設定により、アイテムが同期化される電子メール、カレンダー、連絡先、タスク/メモ、フォルダをプロセスするアカウントを選択できます。

メールとカレンダーについての情報の同期化範囲も指定できます。メールとカレンダー同期化範囲はクリーンアップフィルタとして機能し、デバイスに格納されたデータ量の制御を可能にします。

1. **NotifySync** を開き、メニューボタンを押します。
2. **初期設定 > 同期設定** の順に選択します。
3. サーバーから同期化された情報を処理するために、初期設定を指定します。

ローミング中の同期化	このボックスにチェックを入れると、ローミングしているときデバイスを同期化できます。デフォルト設定: 無効 オプションが無効になっているとき同期化を試みると、デバイスがサービスエリアから外れていることを示すダイアログが表示されます。オプションを無効にすると、ローミング中に大きなデータチャージがデバイスに蓄積されないようにできます。
-------------------	--

アカウント	電子メールを同期化する NotifySync アカウント。
--------------	--------------------------------------

電子メールの同期化	このボックスにチェックを入れると、サーバーからデバイスに電子メールを同期化できます。デフォルト設定: 有効 過去のダウンロード: 1 または 3 日間、1 または 2 週間、1 ヶ月または電子メールのすべて。これによって、メールの同期化範囲を定義できます。例: 3 日間(デフォルト)を選択すると、過去 3 日間の電子メールがデバイスに維持されます。電子メールが 3 日の範囲から動くと、デバイスから削除されます。
------------------	---

カレンダーアカウント:	カレンダーアイテムを同期化する NotifySync アカウント。なしを選択することで、カレンダー同期化をオフにできます。
--------------------	--

過去の同期化: 2 週間、1、3、または 6 ヶ月、またはカレンダーのすべて。これによって、メールの同期化範囲を定義できます。例: 1 ヶ月(デフォルト)を選択すると、過去の月のカレンダーイベントおよびデバイスのすべての将来のイベントが保管されます。

マップ(サーバー カレンダーのフォルダ名)宛先: サーバーのカレンダーフォルダに同期化するデバイスで、カレンダーを選択します。

デフォルトフォルダ: デバイスの新しいカレンダーアイテムが同期化するサーバーで、カレンダーフォルダを指定します。

デバイスの会議出席者を無効にする。 このオプションは、**NotifySync** アカウントに加えて、デバイスに **BIS** 電子メールアカウントを持つユーザー向けです。このボックスにチェックを入れると、会議の招待者が重複する会議更新を受け取らないようにできます。

連絡先アカウント: 連絡先アイテムを同期化する *NotifySync* アカウント。なしを選択することで、連絡先同期化をオフにできます。

マップ(サーバー連絡先のフォルダ名)宛先: サーバーの連絡先フォルダに同期化するデバイスで、連絡先リストを選択します。

デフォルトフォルダ: デバイスの新しい連絡先アイテムが同期化するサーバーで、連絡先フォルダを指定します。

タスクアカウント: タスクアイテムを同期化する *NotifySync* アカウント。なしを選択することで、タスク同期化をオフにできます。

マップ(サーバータスクのフォルダ名)宛先: サーバーのタスクフォルダに同期化するデバイスで、タスクリストを選択します。

デフォルトフォルダ: デバイスの新しいタスクアイテムが同期化するサーバーで、タスクフォルダを指定します。

メモアカウント: メモアイテムを同期化する *NotifySync* アカウント。なしを選択することで、タスク同期化をオフにできます。

マップ(サーバー注のフォルダ名)宛先: サーバーの注フォルダに同期化するデバイスで、メモを選択します。

デフォルトフォルダ: デバイスの新しいメモアイテムが同期化するサーバーで、注フォルダを指定します。

4. メニューから**保存**を選択します。

デバイスの使用開始

メッセージリストの表示

デバイスのホーム画面から **NotifySync** アイコンを選択することで、電子メール受信トレイを表示します。

電子メールフォルダ

フォルダリストには、**ActiveSync** サーバーの電子メールアカウントからメールフォルダ構造全体が含まれます。フォルダ構造内部の周りにメッセージを移動できます。ただし、**ActiveSync** アカウントフォルダの実際のコンテンツをデバイスフォルダに同期化できるように、**フォルダ設定**経由でデバイスの同期化用のフォルダを選択する必要があります。受信トレイは、デフォルトで同期化用にタグ付けされた唯一の電子メールフォルダです。実際の**フォルダコンテンツ**(フォルダ内部のメール)を同期化できるようにするには、他のすべてのフォルダにタグを付ける必要があります。

受信トレイの他に利用可能な電子メールフォルダを表示するには、メッセージリストメニューから**フォルダの表示**を選択します。

メッセージの表示/添付ファイルの検索

メッセージの表示方法: メッセージリストをスクロールして、表示したいメッセージをハイライトします。**Enter** キーを押すか、メニューから**表示**を選択します。

添付ファイルの検索方法: 添付ファイルを含むメッセージを開きます。開きたい添付ファイルをハイライトし、メニューから**添付ファイルのダウンロード**を選択します。進捗状況バーが添付メールダウンロードとして表示され開きます。

注: ファイルタイプをサポートする添付ファイル表示がデバイスに存在する場合、添付ファイルのみが開きます。ファイルタイプがサポートされないとき、エラーメッセージが表示されます。

電子メールメッセージの送信

1. **NotifySync** を開きます。
2. **C** キーを押すかメニューから **構成** を選択して、電子メールを書き込みます。
3. 宛先: フィールドに、**受信者の電子メールアドレス**を入力します。
アドレスを調べるには、メニューから**受信者の追加**または**会社ディレクトリ**を選択します。

4. 電子メールの**件名**を入力します。
5. 電子メールメッセージの**本文**を入力します。
6. 添付ファイルを含めるには、**添付ファイルの追加**を選択し、添付ファイルを選択する場所を選択します。
7. メニューから**送信**を選択します。

連絡先の追加

連絡先から、新しい連絡先を追加したり、既存のエントリを表示して編集できます。

1. ホーム画面から**連絡先アプリケーション**を選択します。
2. メニューから**新規連絡先**を選択します。
3. オプションのフィールドに、連絡先の名前と個人情報を入力します。
4. **保存**を選択して、新規連絡先を保存して連絡先リストに戻ります。

検索ツールの使用

希望する連絡先を素早く検索するには、連絡先リスト画面の上部で**検索バー**を使用します。下の名前または苗字の入力を開始します。1つの文字の入力で、リストは文字が下の名前または苗字で始まる連絡先のみを含めるように狭められます。入力する文字が多くなると、リストに含まれる連絡先が少なくなります。

連絡先 メニューオプション

電子メールと NotifySync	NotifySyncを使用して、選択した連絡先にメッセージを送信します。これにより、 構成画面 が直接表示されます。
削除	選択した連絡先を削除します。
オプション	さまざまな表示オプションを設定します。
フィルタ	カテゴリごとに表示する連絡先を指定し、新しいカテゴリを作成します。
会社ディレクトリ	サーバーにあるパブリックアドレス帳で、連絡先を検索します。

旅行ヒント

- 他の時間帯で旅行する計画を立てた場合、デバイスの時間帯と **ActiveSync** サーバーのメール/PIM アカウントの時間帯を変更します。
- インターネットベースのアプリケーション同様、**NotifySync** は電話のデータ接続を使用します。ローミングしているとき、モバイルネットワークプロバイダからのデータ負担はさらに高くなります。そのため旅行している間、追加データ負担を避けるために **同期設定** で **ローミング中の同期化オプション** を無効にするように調整する必要があります。
- 海外に旅行する場合、航空会社に連絡して国際旅行データプランの可用性についてお尋ねください。そのようなプランは、海外旅行をしている間、使用コストを削減できます。
- 旅行するとき、デバイスに一層厳しいセキュリティ設定を適用します。**セキュリティ上のヒント** を参照してください。

セキュリティ上のヒント

以下で説明されるセキュリティ機能を使用します。これらの機能は、**NotifySync 初期設定**でデバイスから設定できます。

NotifySync ロック設定

非アクティビティタイムアウト	非アクティビティによりデバイスがロックするまでの時間 (分) を入力します。
タイムアウト拒絶	デバイスがロックされるまでの時間 (分) を入力します。これにより、非活動であるかどうかにかかわらずロックが開始され、デバイスを紛失したり盗まれた場合にデバイスの不正使用を拒絶することができます。
ロック解除に失敗したときにワイプ	デバイスが、デバイスからすべてのデータ/アプリケーションを消去するまでに、ロック解除を試行できる失敗回数を入力します。

NotifySync のパスワード設定

パスワード失効	パスワードが失効するまでの日数(30~365)を入力します。
パスワード履歴	保存するパスワードの数(10~100)を入力します。保存されたパスワードの数が 10 の場合、最後の 10 番目のパスワードを使用することはできません。

NotifySync の一般セキュリティ設定

休止中の電子メール暗号化	すべての NotifySync 電子メールデータを含め、デバイスストレージディスクで電子メールデータベースに対する休止中のデータ暗号化を有効にします。暗号化のレベルを選択します。 安全(128 ビット) / かなり安全(192 ビット) / もっとも安全(256 ビット)
--------------	--

NotifySync 技術サポート

Notify Technology Corporation 技術サポートチーム(techsupport@notifycorp.com)にお問い合わせください
または、330.702.3070 まで、お電話ください。